通級だより

すてっぷ

令和８年　11・12月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室　75-0379



自分で選んで　最後まで



秋から冬へ季節が移り行く時期です。美しい紅葉も見頃となってきます。
お子さんと一緒に自然の美しさを感じられる場所へお出かけしてみてはどうでしょうか。

学校生活では、運動会が終わり、それぞれ次の目標に向かって頑張っています。通級指導教室では、これまで同様に体を思い切り動かしたり、それぞれのめあてで個別学習をしたりしています。

先日、季節に合わせたミニかぼちゃづくりをしました。（季節を感じる心を育みます。）手先を使っての細かい動きや自分の手の動きを目で確認することを目的としていました。まずは、毛糸を選ぶところからスタート。何色か用意をしていた中から、子どもたちが選びました。「秋っぽい色だから茶色」「かぼちゃならオレンジ色」「かぼちゃの皮で考えると緑」など、選んだ理由は、子どもによってそれぞれです。自分で選ぶので、自分の作品に愛着がもてます。題名にも書いています「自分で選んで」というのは、子どもを育てていく上で大切なことの一つだと言われています。何もかも選ばせるのは子どもにも負担がかかりますが、実態に合わせて子どもに委ねていくことが、選べた（任せてもらえた）喜びにもつながっていきます。

また、このミニかぼちゃづくりでは、細かい作業をくり返すので、中には時間がかかる子どももいました。大人が最後の仕上げをしたり、手伝ったりしたくなるものですが、その気持ちをグッとこらえ、「最後まで」やり切る姿を見守りました。その結果、達成感を味わう姿が見られました。

「自分で選んで、最後までできた！」という小さな成功体験を今後も積み重ねていきます。

11・12月の行事予定（余内小）

11月27日（金）　通級参観日（※）
12月２日（水）　通級参観日（※）
　　４日（金）　出張のため指導はありません。

（※）２学期から通級に通うことになったお子さんを対象に案内文書を配布しますが、年間を通して参観していただけますので、気軽に通級担当までお声がけください。

11・12月の行事予定（中舞鶴小）

11月17日（火）　通級参観日
　　27日（金）　通級参観日
12月４日（金）　出張のため指導はありません。

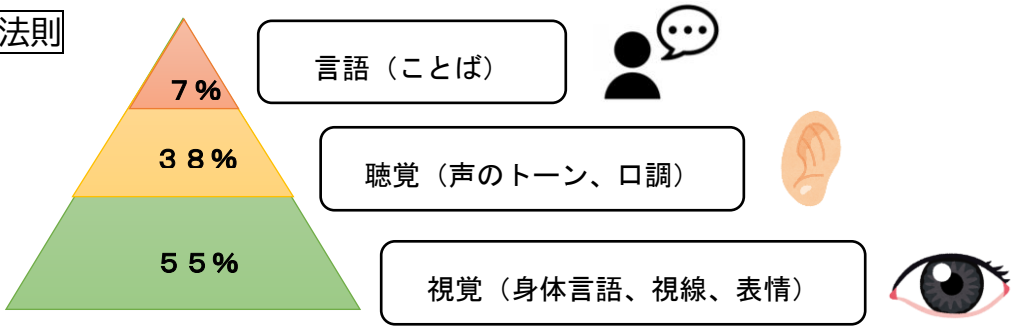




よりよく思いが伝わるためには…

人は他者（子どもにとっては友達・保護者・教員・習い事のコーチなど）からの評価を取り込むことによって自分を理解していくことが多いです。大人は子どものがんばりを認め、絶やすことなく褒め続けていきたいものです。では、思いをよりよく相手に伝えるためには、どんなことを意識するとよいのでしょうか。

メラビアンの法則



「メラビアンの法則」とは、アメリカの心理学者アルバート・メラビアンによって発表されたもので、情報が相手に与える影響を比率で表したものです。

・言語情報＝話している言葉、メッセージの内容が７％。
・聴覚情報＝声の大きさ、話す速さ、声の調子（トーン）、抑揚が38%
・視覚情報＝表情、目線、服装、身振り手振り、姿勢が55%

これを基に、言葉と感情や見た目が食い違っているときに、人は何を信じて判断するでしょうか。

（例）「笑いながら叱る」
→話し手が笑っている以上、「叱りの言葉」よりも「笑い」が優先され、聞き手は反省しない
（例）「浮かない表情で褒める」
→浮かない表情の与える印象が強く「誉め言葉」が伝わらず、聞き手は落ち込む

このことから、コミュニケーションにおいては「何を話したか」という言葉の内容よりも、「どのような表情や態度だったか」「どのような声の調子だったか」といった、言葉以外の要素こそが大きな影響を与えていることがわかります。つまり、スムーズなコミュニケーションは、【言語・聴覚・視覚】すべてが矛盾なく、バランスがとれていることが必要となります。

大人が子どもの話を聴く時にも、この３つの要素を意識して声をかけたり、話を聞いたりしていくと、子どもの「自分の思いが伝わって良かった。」という経験に繋がります。そういった経験を多く積むことで、子どもの自己肯定感も高まっていくというわけです。

